

伊達開来高等学校 2年 大廣恭志

1日目のユースセッションではミッションをクリアするため、電動自転車に乗り、美瑛町を探索しました。最初は「美瑛駅周辺の建物に書かれている年数がどのようなものを意味するのか」というミッションを行いました。次に美瑛神社に行く道中でじゅんpeiという飲食店で昼食を食べました。フライが有名なお店で普段は満席になるほどの人気店だそうです。美瑛神社では「境内にあるハートを探せ」というミッションを行い、一番多く見つけられた人が勝ちというゲームを行ったところ、100個以上見つかりました。最後のミッションは三愛の丘展望公園という場所に設置されていたため、約5kmをゆるく登りました。途中、勾配が約15%の坂に差し掛かり、私はこの時初めて電動アシストを使用しました。展望台では十勝岳周辺の地形のでき方や農業事情などを現役で農業を営んでいる方に教えてもらいました。探索が終わり、全班が交流を行う場では、資料や各班の体験してきたことを聞き、美瑛やその周辺の地形や歴史について、改めて知ることができました。

2日目の口頭発表では銚子、下北、白滝のジオパークの発表を聴きました。それぞれのジオパークの魅力や楽しみ方、課題や解決方法など、様々な工夫を凝らしていたため、とてもわかりやすい発表でした。私は部活で行っている有珠山での研究を発表しました。発表には有珠山の火山マイスターの方や洞爺湖町の町長、伊達市の市長が来てくださり、とても緊張しました。

私は今回の大会に出場し、ユースセッションでは十勝岳がどのようにできたか、美瑛、上富良野に開拓へ来た本土の人々が直面した課題、それを乗り越えてできた周辺の特色を学び、口頭発表では日本にあるジオパークの様々な特色や課題を学ぶことができました。

